

2017年1月19日（木）



第56期（2017年3月期） 第3四半期決算説明会

（2016年4月1日～2016年12月31日）

代表取締役社長	最高経営責任者（CEO）	保木 潤一
常務取締役	営業本部長	山本 幸雄
経営企画部	広報課	山下 洋

HOGY MEDICAL Co., Ltd.

将来予測に関する注意事項

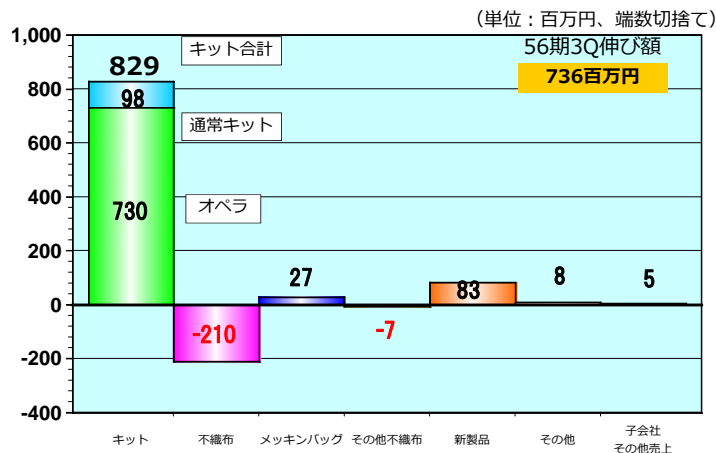
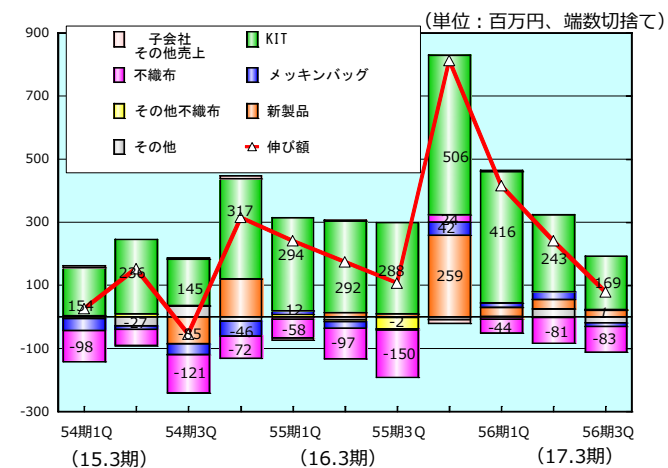
この資料に記載されている当社の現在の計画、見通し、戦略は、将来の業績に関する見通しです。これらの記述は、現時点で入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。従って、これら業績見通しに全面的に依拠することはお控え願います。様々な重要な要素により、実際の業績はこれら業績見通しと異なる可能性があります。

本資料に含まれる業績については、監査法人による会計監査を受けておりません。

業績の概要

第56期（2017年3月期）第3四半期損益計算書

単位:百万円 切捨て	16.3 55期3Q実績		17.3 56期3Q実績		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	27,055		27,792		736	102.7%
営業利益	6,561	24.3%	6,055	21.8%	△505	92.3%
経常利益	6,701	24.8%	5,979	21.5%	△722	89.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,556	16.8%	4,752	17.1%	195	104.3%
E P S	289.68円		302.93円			

第56期（2017年3月期）第3四半期
主な製品の売上高伸び額第56期（2017年3月期）
四半期別売上高伸び額の内訳

第56期（2017年3月期）第3四半期損益計算書

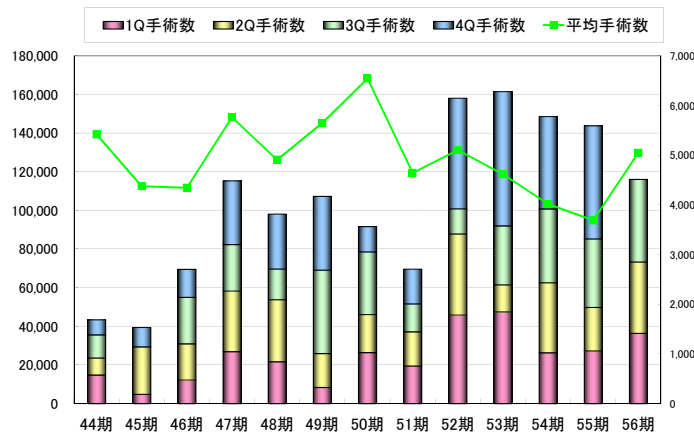
オペラマスター契約の手術件数推移

第56期（2017年3月期）第3四半期 ポイント



単位:百万円 切捨て	16.3 55期3Q実績		17.3 56期3Q実績		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	27,055		27,792		736	102.7%
営業利益	6,561	24.3%	6,055	21.8%	△505	92.3%
経常利益	6,701	24.8%	5,979	21.5%	△722	89.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,556	16.8%	4,752	17.1%	195	104.3%
E P S	289.68円		302.93円			

(単位:手術件数)



- オペラマスターは、新規契約数が23施設、解約が9施設
- 契約病院の半数が I 群、II 群病院
- プレミアムキットの臨床試用を6月末より開始し164病院で臨床試用
- オペラマスター施設で個人情報の漏えい
- オペラマスター病院での立上げ遅れや病院からの値下げ交渉により売上高の減少
- 新工場の償却費用と為替の影響を受け原価が上昇（円高により影響は当初想定より軽微）
- 保有有価証券の一部売却による特別利益が発生



今後の戦略と対策

第56期（2017年3月期）損益計算書

修正の内容

今後の施策



単位:百万円 切捨て	16.3 55期実績		17.3 56期修正計画		前年比		17.3 56期期初計画		計画比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	36,568		37,090		521	101.4%	38,400		△1,310	96.6%
営業利益	8,784	24.0%	7,520	20.3%	△1,264	85.6%	7,180	18.7%	340	104.7%
経常利益	8,924	24.4%	7,430	20.0%	△1,494	83.3%	7,280	19.0%	150	102.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,910	16.2%	5,730	15.4%	△180	96.9%	5,000	13.0%	730	114.6%
E P S	375.81円		366.17円				319.52円			

■売上高

- ・オペラマスター契約病院の立上げ遅れ
- ・病院からの値下げ交渉により売上高の減少
- ・新製品販売計画の見直し

■原価

- ・為替影響額の修正
- ・新工場機械取得時期及び償却年数の修正

■販売管理費

- ・未消化費用の修正

■その他

- ・インドネシア追徴課税
- ・保有株式の一部売却益

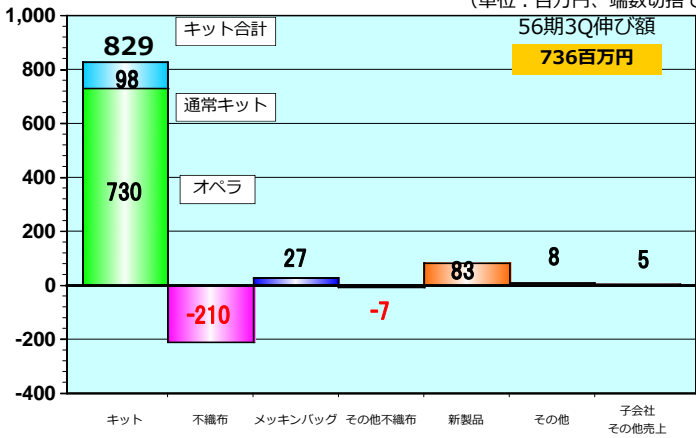
●「プレミアムキット」臨床試用&販売の促進

- オペラマスター立上げ強化とプレミアムキット提案
- DPC病院のⅠ群、Ⅱ群、Ⅲ群上位施設へのオペラマスター提案
- 新製品販売戦略の見直し(販売方法、ターゲット病院の見直し)
- 営業活動の効率化と強化
- 情報管理の見直し
- 新工場生産設備据え付け調整
- 増収に必要な費用へ傾注
- 次世代の柱になる新製品と内製化の開発強化
- P.T.HOGY INDONESIAの生産性改善

第56期(2017年3月期)第3四半期 売上高

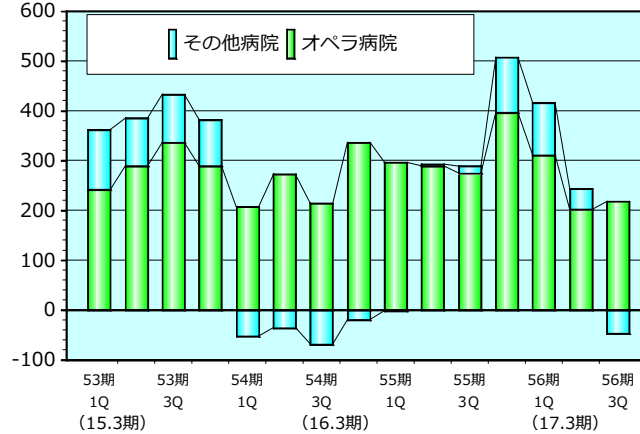
第56期（2017年3月期）第3四半期 主な製品の売上高伸び額

(単位：百万円、端数切捨て)

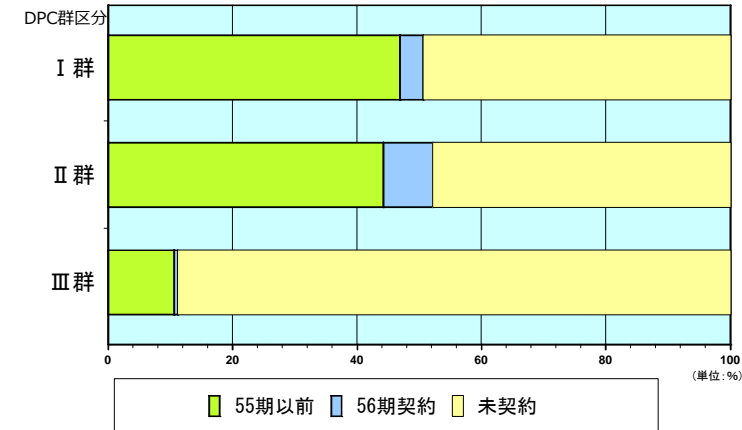


キット売上高推移

(単位：百万円、端数切捨て)



オペラマスター 群別契約割合



* DPCの病院区分は2016年度時点

オペラマスター進捗状況

オペラマスター浸透率・手術件数（契約期別）

オペラ契約病院 浸透率推移



売上高：10,914百万円（+730百万円：107.2%）

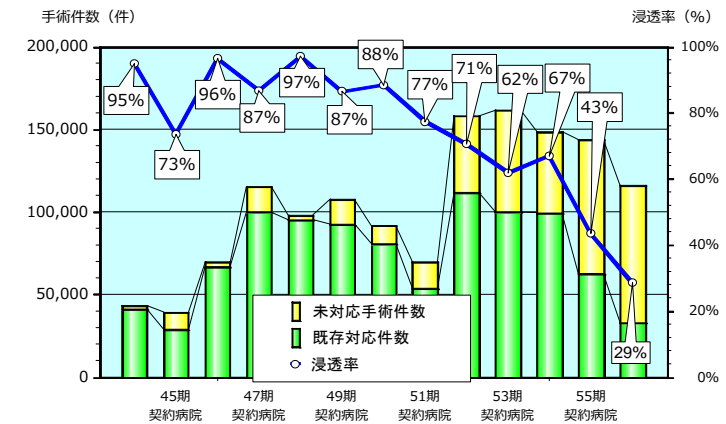
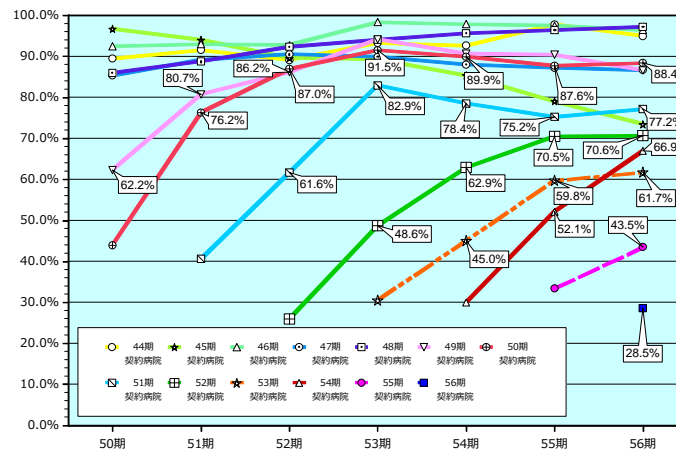
56期3Q契約施設数：

新規：23施設

- DPC I 群施設：3施設
- DPC II 群施設：11施設
- DPC III 群施設：9施設

解約：9施設

累計契約施設数：286施設



*契約、解約病院数は2016年12月末現在の状況

販売戦略の状況

56期第3四半期売上高 ポイント



56期戦略	現状	評価
大型病院のオペラマスター契約	I群・II群病院での契約が増加し前年以上の契約オペ数	○
オペラマスター契約病院の立上げ	立上げ予定病院の遅延	△
プレミアム・ブリストアキットの認知度向上及び販売強化	臨床試用病院と販売消費先は順調に増加	△
EMAROの拡販	3Q累計販売台数2台	×
手術管理システムの販売	契約予定病院が延期	×

- 大型病院で順調に契約が進む：（DPC I群：3施設 DPC II群：11施設 DPC III群：9施設）
- 9月以降オペ数の鈍化が始まり12月時点まで継続
- オペラマスター施設にて情報漏洩
- オペラマスターの立上げ遅れ
- 病院からの値下げ交渉により売上高の減少
- 内視鏡用ホルダEMARO2台契約、56期で67病院（累計105病院）での臨床試用を実施
- プレミアムキット臨床試用を6月末より開始し164病院で臨床試用（マスター設計済み230施設）
- 手術管理システム契約予定病院が延期



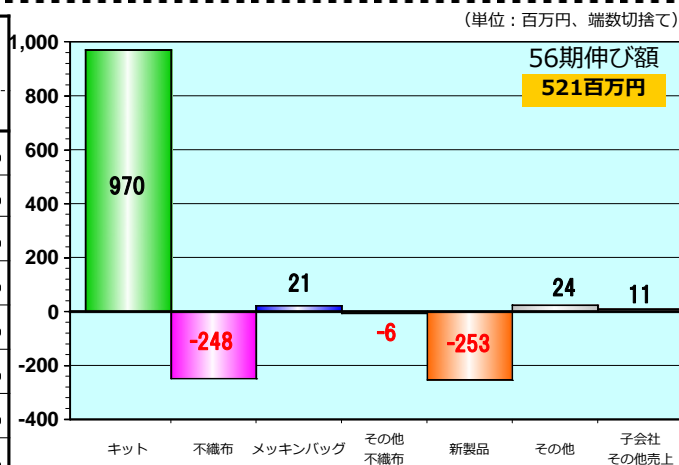
第56期(2017年3月期) 売上高計画

第56期（2017年3月期）主な製品の売上高増減額

第56期（2017年3月期）売上高計画



単位:百万円 切捨て	16.3 55期 実績	17.3 56期 修正計画	17.3 56期 期初計画	前年比		予算比	
				増減額	増減率	増減額	増減率
キ ッ ト	20,259	21,230	21,860	970	104.8%	△630	97.1%
不 織 布	9,728	9,480	9,372	△248	97.5%	108	101.2%
メ ッ キ ン バ ッ グ	2,698	2,720	2,650	21	100.8%	70	102.6%
そ の 他 不 織 布	1,416	1,410	1,400	△6	99.6%	10	100.7%
新 製 品	463	210	1,100	△253	45.4%	△890	19.1%
そ の 他	1,935	1,960	1,950	24	101.3%	10	100.5%
子 会 社 そ の 他	68	80	68	11	116.9%	12	117.6%
合 計	36,568	37,090	38,400	521	101.4%	△1,310	96.6%



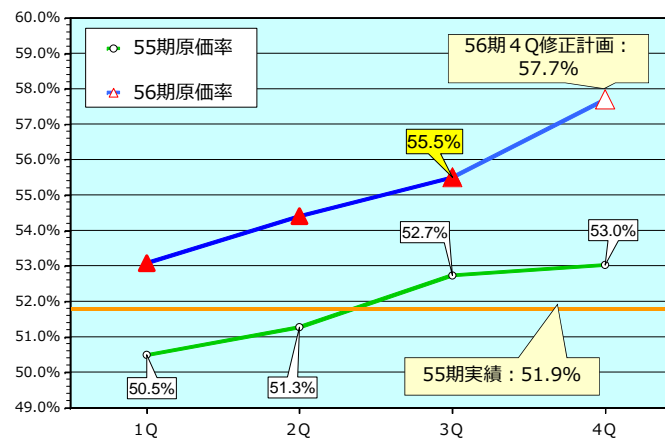
- [プレミアムキット製品の臨床試用病院を拡大](#)
- [プレミアムキット販売を先行して強化](#)
- [プレミアムキットでオペラマスター病院の立上げ](#)
- D P C病院の I 群、II 群、III 群上位施設へのオペラマスター提案強化
- EMAROおよび手術管理システムの戦略の見直し（ターゲット施設見直しを図り、来期の予算計上病院増加を行う）

業績の詳細

第56期（2017年3月期）第3四半期損益計算書

単位:百万円 切捨て	16.3 55期3Q実績		17.3 56期3Q実績		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	27,055		27,792		736	102.7%
売上原価	13,940	51.5%	15,101	54.3%	1,161	108.3%
売上総利益	13,114	48.5%	12,690	45.7%	△424	96.8%
販売費及び一般管理費	6,553	24.2%	6,635	23.9%	81	101.2%
営業利益	6,561	24.3%	6,055	21.8%	△505	92.3%
営業外損益	140		△76		△216	
経常利益	6,701	24.8%	5,979	21.5%	△722	89.2%
特別損益	1		1,021		1,020	
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,556	16.8%	4,752	17.1%	195	104.3%
EPS	289.68円		302.93円			

原価率推移

第56期（2017年3月期）第3四半期
利益分析

原価率：前年比 2.8%増加

- 新工場建屋及び機械取得による償却費の上昇
- 海外取引の際の円安影響

販管費：前年比 81百万円増

設備投資：4,962百万円（前期比：1,851百万円減）

償却：3,033百万円（前期比：655百万円増）

- 原価：2,273百万円（前年比：663百万円増）
- 販管費：760百万円（前年比：8百万円減）



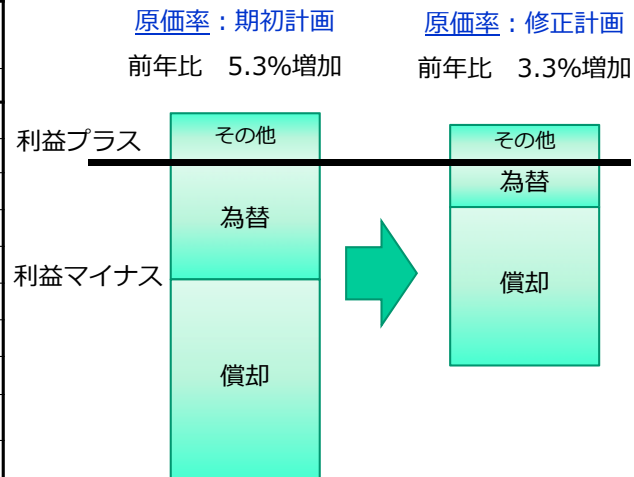
第56期(2017年3月期)詳細計画

第56期（2017年3月期）損益計算書

第56期（2017年3月期）利益計画



単位:百万円 切捨て	16.3 55期実績		17.3 56期修正計画		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	36,568		37,090		521	101.4%
売上原価	18,984	51.9%	20,470	55.2%	1,485	107.8%
売上総利益	17,583	48.1%	16,620	44.8%	△963	94.5%
販売費及び一般管理費	8,799	24.1%	9,100	24.5%	300	103.4%
営業利益	8,784	24.0%	7,520	20.3%	△1,264	85.6%
営業外損益	139		△90		△229	
経常利益	8,924	24.4%	7,430	20.0%	△1,494	83.3%
特別損益	△180		1,020		1,200	
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,910	16.2%	5,730	15.4%	5,730	15.4%
E P S	375.81円		366.17円			



原価修正内容：為替実勢レートと予算のずれを修正

新工場設備取得の月ずれ

販売管理費：前年比300百万円増

試験研究費及び新製品販売促進費用の増加

設備投資：8,480百万円（前期比：-600百万円）

新工場投資額：6,719百万円

償却：4,423百万円（前期比：1,070百万円増）

・原価：3,421百万円（前年比：1,112百万円増）

・販管費：1,002百万円（前年比：42百万円減）



2017年1月19日 (木)

第56期 (2017年3月期) 第3四半期決算説明会

(2016年4月1日~2016年12月31日)

代表取締役社長	最高経営責任者 (CEO)	保木 潤一
常務取締役	営業本部長	山本 幸雄
経営企画部	広報課	山下 洋

HOGY MEDICAL Co., Ltd.